

目的	ペーパーレス化 	経費削減 	情報収集機能強化 
経過	① 平成25年8月 議員定数等議会改革推進特別委員会 の報告 ② 平成27年8月 議会改革推進特別委員会 の報告 ③ 担当委員会での検討（担当委員会は次のとおり） ・議員定数等議会改革推進特別委員会 ・議会改革推進特別委員会 ・議会運営委員会 ④ 先進地視察（福岡県篠栗町、美郷町、出雲市、山口県長門市、香川県三豊市）		
導入運用	平成30年6月 タブレット端末30台導入し議員へ貸与 ・タブレット端末の貸与及び運用に関する規定を策定 ・議員用24台、事務局用6台、執行部なし 平成30年7月 会議システム（Sidebooks）導入 ・ペーパーレス会議システム等の使用に関する要領策定 平成30年9月定例会 仮運用開始（本会議、委員会資料を原則データ化） 平成31年3月定例会 本格運用		
効果	① 経費等の削減 ・人件費（資料印刷、資料組み、配付時間削減） ・印刷代（令和元年度 約120万円／年、69万ページ／年 削減） ※削減額には用紙、印刷代、トナー代を計上 ② 調査機能の充実 ・資料の検索、持ち運びの利便性向上 ・過去の資料を含め多くの書類データを格納できる ③ その他 ・ウェブ会議（ZOOM）への活用		
課題	➤ 書類データの保存年限の設定 ➤ 端末更新時の予算確保 ➤ Wi-Fi専用機器（セルラーモデルではない）のためデータ通信環境が必要		

コスト	会議システムの主な機能
① 初期費用 ・タブレット端末代 (2,235,600円) ・付属品 (205,416円) ※保護フィルム、カバー、Applepencil ・Wi-Fi設置工事 (2,538,000円) ・議場用ディスプレイ (378,000円) ※執行部配信資料確認用 ・初期会議システム設定費 (561,600円) ・ネット通信初期設定料 (23,544円) ② 維持・運用費 (1,077,120円／年) ・回線使用料 (5,940円/月) ・プロバイダー使用料 (1,320円/月) ・会議システム使用料 (82,500円/月)	① 会議中、対象者に閲覧してほしい資料の通知ができる ② ファイルへ手書きのメモや画像を貼り付けられる ③ タブレット、PC、スマートフォンで資料データを閲覧できる